

指定管理者からの令和6年度事業報告概要

施設名	岡山県倉敷スポーツ公園
施設所在地	岡山県倉敷市中庄3250-1

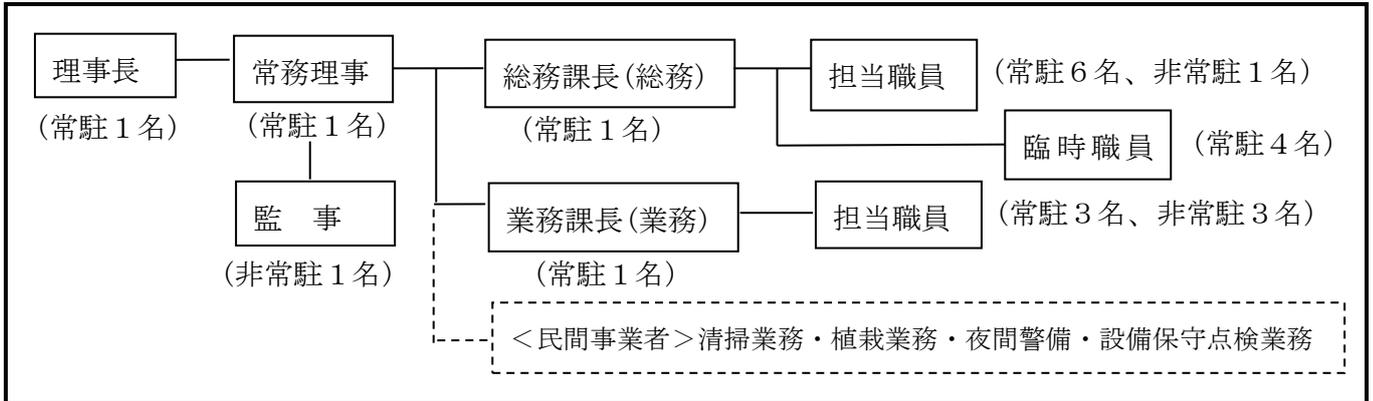
【指定管理者の概要】

名称	公益財団法人倉敷スポーツ公園	代表者	理事長 佐藤 昌之
所在地	岡山県倉敷市中庄3250-1		

【指定管理の概要】

指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	報告期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・倉敷スポーツ公園の施設の利用等の許可に関する事。 ・倉敷スポーツ公園の施設及び設備の維持管理に関する事。 ・倉敷スポーツ公園の運営に関する事。 		

【管理体制の状況】



【利用等の許可の状況】

(単位：件)

		野球場 (補助含)	テニスコート	その他	合計
許可件数	6年度	365	12,300	8,497	21,162
	5年度	383	12,018	7,254	19,655
	増減	△18	282	1,243	1,507

【維持管理の業務の実施の状況】

項目	内容
施設等の維持管理業務	・建物、設備保守管理 ・施設清掃業務 ・警備業務 ・植栽管理業務等
公園使用許可業務	許可件数 21,162件
自主企画事業	スポーツ教室延べ36コースを開催 各種大会 (マスカット杯軟式野球大会、テニス大会等) を開催

【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位：円、人)

		野球場 (補助含)	テニスコート	その他	合計
収入額		32,387,471	21,314,870	41,765,512	95,467,853
利用者数		189,068	65,020	97,858	351,946
減免額		825,572	759,460	29,623,656	31,208,688
減免理由	身体障害者、高等学校以下の学校が組織する団体が主催し、スポーツ振興のために使用する場合など。				

指定管理者からの令和6年度事業報告概要

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		6年度	対前年度増減額	5年度	備考
収入額 A		319,522,609	24,964,861	294,557,748	6年度収入額 ・指定管理料のうち賃金及び物価の上昇に応じた増額分 6,299,000円 (財源は全額国庫) ・その他の主なもの 県委託修繕費 37,147,560円
内 訳	指定管理料	151,460,000	6,299,000	145,161,000	
	利用料金収入	95,467,853	519,054	94,948,799	
	事業収入	6,072,660	△145,820	6,218,480	
	その他	66,522,096	18,292,627	48,229,469	
支出額 B		319,522,609	24,964,861	294,557,748	6年度支出額 ・その他の主なもの 施設修繕費 37,195,380円 県への納入金 (①+②+③) ①外部委託に係る剰余金の1/2 96,250円 ②管理運営費等に係る剰余金の1/2 0円 ③修繕費の残額 0円 計 96,250円
内 訳	人件費	96,889,861	9,592,796	87,297,065	
	管理運営費	182,373,255	7,560,889	174,812,366	
	事業費	3,064,113	△447,966	3,512,079	
	その他	37,195,380	8,259,142	28,936,238	
収支額 A-B		0	0	0	
県への納入金		96,250	△174,510	270,760	
実質的な県負担額		182,469,937	8,593,111	173,876,826	

【特記事項 (管理運営業務の実施状況の点検結果)】

点検項目		区分	特記事項 (評価すべき点・改善すべき点)
管理 運営 状況	①適切な施設管理の履行	B	事業計画に沿った適切な管理が履行されていた。
	②法令等の遵守状況	B	関係法令に基づく義務は適切に履行されていた。
	③安全性の確保	B	安全管理マニュアルが整備され、安全性を確保した管理が履行されていた。
	④財産の適切な管理	B	施設・設備の破損、備品の紛失はなく、修繕は適切に実施され、適切な管理が履行されていた。
導入 効果	①利用状況	B	前年度と比べ、利用者数は増加したが、プロ野球オープン戦等の有観客試合数の減少により、観客数は減少した。 【利用者数】 R6 : 192,065人 ← R5 : 181,453人 【観客数】 R6 : 159,881人 ← R5 : 167,637人
	②収支状況	B	事務室等の照明器具のLED化による電気使用量の抑制、園内清掃や小規模修繕はできる限り財団職員が行うなど、経費節減に努めていた。
	③サービス向上	B	デジタルサイネージや各種スポーツ教室のネット予約受付の活用、トレーニングジムの利用料金を値下げするなど、利用者の利便性の向上を図っていた。
管理運営業務全般		B	施設利用者数及び施設利用料金収入が前年度より増加した一方で、物価の高騰により厳しい状況が続いているが、経費削減等に取り組んでおり、管理運営において適切な対応を行っていた。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A : 予定していた業務水準を上回った。

B : 予定していた業務水準を概ね実施した。

C : 予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D : 予定していた業務水準を下回った。